

老健いばらき

第47号

2015.9.1



ラムサール条約に登録された涸沼

写真提供／茨城町地域産業課

茨城町農畜産物マスコットキャラクターの『ひぬ丸くん』です！丸いお顔は、町民に愛着がある町章がモチーフになっています。お気に入りの青いスカーフは、涸沼をはじめ町を流れる清流をイメージしたもの。茨城町の特産物である涸沼のしじみとメロン、イチゴが大好きな緑の妖精です。



茨城町
農畜産物
マスコット
キャラクター
「ひぬ丸くん」

発行所／一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会
発行人／平成園 小柳 賢時

編集人／かすみがうら
編集／田尻ヶ丘ヘルシーケア
鹿野苑
プラタナスの丘
シニア健康センターしおさい
つくばリハビリテーションセンター

大場正二
石川正也
熊坂吾也
大曾根卓裕
児島強博
鈴木基

老健いばらき

び家族のもとに、社会に参加していくたぐ事が出来るようになりました。近年、介護保険給付面でも在宅復帰率が考慮されるようになり、プロスペクトガーデンの目指している介護が老健での介護の標準になると考へています。在宅復帰率60%以上をキープしています。わが国では少子化だけでなく核家族化も進んでおり、高齢者に対する介護は家族では到底支えきれないのが現状です。従つて、老健施設の役割もりハビリをして、元気にして、ご家族のもとに帰すだけではなく、ご家族と一緒にになって高齢者の介護を担うことが要求され、そのため、多様化した利用者に合ったデイケアなども必要であると考えています。

茨城県介護老人保健施設協会の理事に推薦されたのを機に、茨城県の介護施設のレベルアップに寄与できれば幸甚です。宜しくお願ひ致します。

つばりハビリテーションセンター

施設長 鈴木 基博

この度、理事に就任させて頂きましたづくばリハビリテーションセンターの鈴木基博と申します。もともと当施設の市原健一が理事をしておりましたが、多忙であるため交代させていただきました。当施設はいちはら病院の併設施設として、グループ内にある特別養護老人ホーム、グループホームなどとともに地域社会に密着した医療と介護の連携を基本方針の一つとして利用者の皆様が切れ目ない医療福祉サービスを享受できるよう努めています。

さて、2000年に自立支援、自己選択、自己決定、人間としての尊厳を掲げ施行された介護保険法は、質の高い介護を必要な時にもうながる最近、介護保険の財政負担の問題から、設立当初の理念からはずれが現れてきているように思われます。2015年度の改正介護保険法では、応能負担化による

負担増、介護報酬の削減、地域密着事業への移行による総量規制による実質的需要抑制が行われました。そして更に2025年に向けて、地域包括ケアシステムが進められてさらなる抑制が行われていくことと考えられます。加えて、病床削減の影響により介護現場は病院機能の補完が必要となっています。しかしながら、介護保険制度の有用性については認識が低いままのようです。例えば、介護保険制度の一つの目的である介護の社会化により、家庭介護者が介護から解放され多くの方が社会に出て働くことができています。その経済効果は大きな割合を占めるものと考えられます。その点についての議論は進んでいないように思われます。さらに人がその人らしい生活を継続して行くつえで、医療、療養、機能向上などに加え介護も含めた全般的ケアが重要な要素である中で、介護の専門性に対する評価も改善する必要があります。

このよくな厳しい状況に置かれている中ですが、今後も協会の発展のため微力ながら努めてまいる所存ですので指導ご鞭撻いただけますよう宜しくお願いいたします。

シニア健康センターしおさい

副施設長 呉島 強

この度、5月の総会において理事に就任することになりました「シニア健康センターしおさい」の児島です。高萩市「博絶苑」の渡辺理事長から後任の推薦を受け県北地区の出身となります。また、担当は、広報委員です。

最後に、「シニア健康センターしおさい」に於いても、その実現に向け、微力ではありますが、職員一體となり、『情熱』を持って努力の継続をお約束し、就任の挨拶と致します。

ご挨拶

茨城県保健福祉部長寿福祉課地域ケア推進室

室長 村田 隆

まず、当施設を簡単に紹介しますと、事業主体は日立健康保険組合であり、加入者は、全国規模で55万人の大所帯です。当組合は、周知の通り高齢者への多額の拠出金により会に貢献する」とし平成10年4月1日に開

設、今年で17年目を迎えました。定員は入所・100名、通所・60名です。現在の実績は、入所・90名、通所・50名であり、一層の利用者を獲得すべく、営業活動・サービスの充実等、更なる成長を目指しています。所在地は、日立市鮎川町の海側に位置し、美しい朝日を浴びる太平洋を望み、敷地は1万2千平米と広大な中に、四季折々の草花、梅・桜などの庭木に囲まれ、緑豊かで自然を満喫しながらのリハビリと安らぎの空間を提供しています。

今年度は、診療報酬改定により、改定率マイナス2.27%と大変厳しい状況ですが、改定の基本的な考え方方に沿い、①処遇改善加算、②サービス提供体制強化加算、③経口維持加算、④リハビリマネジメント加算等の「新設された加算取得」に「チャレンジ」しています。その結果として、利用者とその家族の皆様の期待に応えることになると信じております。

今後益々、高齢化社会が進展する中で、福祉施設の役割、特に、リハビリによる自立支援を目的とした介護老人保健施設の役割と責任は大きく、要介護者の「人間らしく、自分らしく生きる」に欠かすことの出来ない施設です。

最後に、「シニア健康センターしおさい」に於いても、その実現に向け、微力ではありますが、職員一體となり、『情熱』を持って努力の継続をお約束し、就任の挨拶と致します。

結びに、今後とも本県の高齢者福祉行政の推進にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、茨城県介護老人保健システムや訪問リハビリテーションなどの訪問系サービスに積極的に取り組んでいくことで、施設を退所した利用者が在宅で継続的にケアを受けられる体制づくりなどが期待されます。

伴い、医療一ίズの高い高齢者や重度の要介護者は益々増加し、看護職員や介護職員などの人材確保等が喫緊の課題となっています。このようなか、昨年6月には、いわゆる「医療介護総合確保推進法」が公布され、また、今年1月には国家戦略として認知症対策を位置づけるいわゆる「新オレンジプラン」が策定され、今年の4月以降順次、改正内容が施行されています。

これらを受けて、県におきましては平成27年度からの3年間を計画期間とする「第6期いばらき高齢者プラン」を今年3月に策定しました。このなかでは、「団塊の世代」全てが75歳以上となる平成37年を見据え、高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を政策目標の柱に掲げ、この目標を実現するため、各種施策を市町村、関係団体及び県民の皆様と連携を図りながら推進してまいります。

地域包括ケアシステムを構築していくうえで、介護老人保健施設が担われる役割は非常に大きいものがあります。介護老人保健施設には医療の専門知識を持った職員が多く勤務していることから、例えば訪問看護ステーションや訪問リハビリテーションなどの訪問系サービスに積極的に取り組んでいただくことで、施設を退所した利用者が在宅で継続的にケアを受けられる体制づくりなどが期待されます。

介護給付に関する各種加算についてのアンケート調査結果

介護保健施設サービス

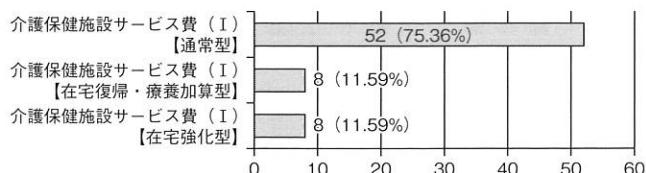
★調査対象⇒茨城県介護老人保健施設協会会員105施設

(平成27年7月1日現在)

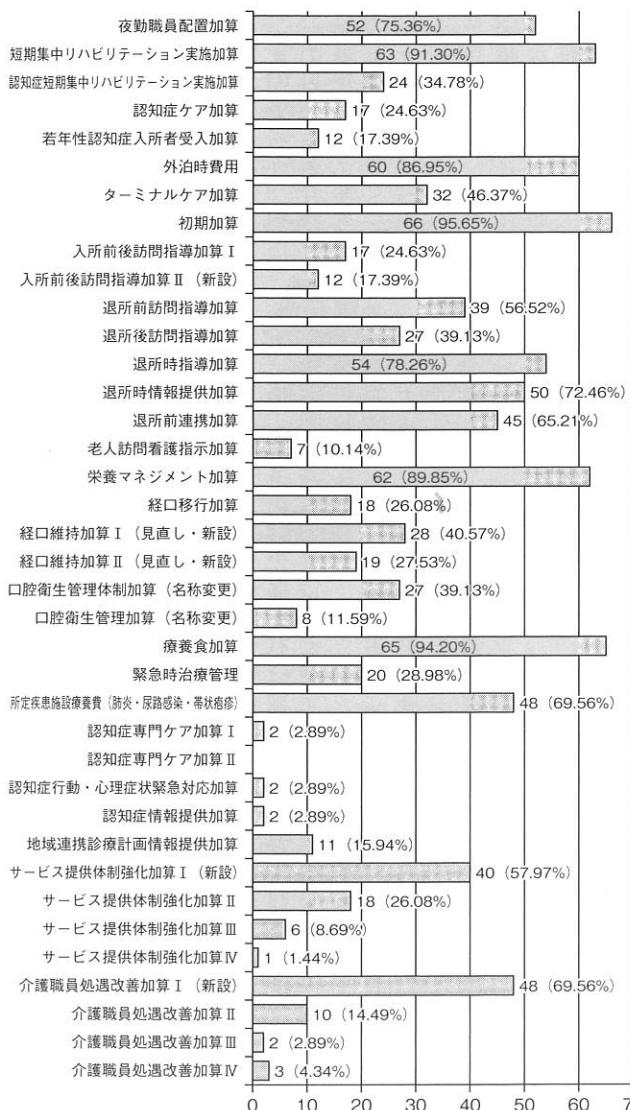
⇒平成27年7月1日現在にもとづいて調査

★回収総数⇒69施設 (回収率65.71%)

介護保健施設サービス (基本部分)



介護保健施設サービス (加算)



通所リハビリテーション

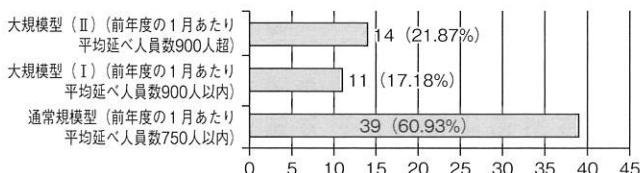
★調査対象⇒茨城県介護老人保健施設協会会員105施設

(平成27年7月1日現在)

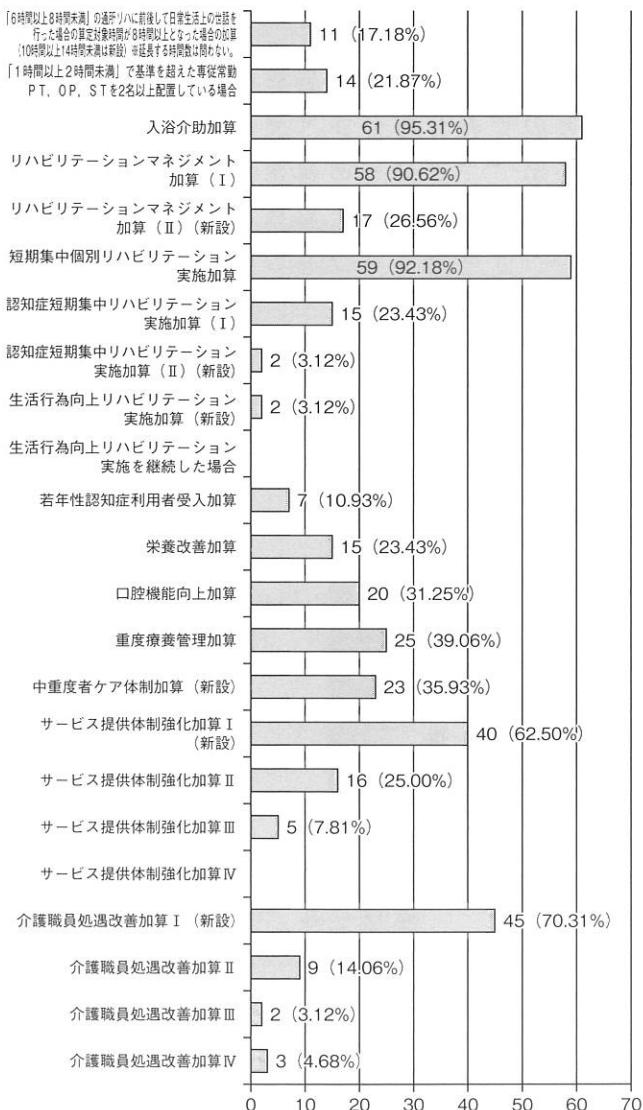
⇒平成27年7月1日現在にもとづいて調査

★回収総数⇒64施設 (回収率60.95%)

通所リハビリテーション (基本報酬部分)



通所リハビリテーション (加算)



注) 加算「有」と回答した施設について

・現に加算の実績がある。

・平成27年7月時点で加算請求していないても、既に加算を算定する体制（人員、書式等）が整備されており、且つ8月に加算請求する予定がある。

注) 加算「無」と回答した施設について

・加算の届出をしていない。

・加算の届出をしても、加算を請求する体制（人員、書式等）が整備されていない。

・加算を請求する体制（人員、書式等）が整備されているが、対象者がいない。

平成27年度一般社団法人茨城県介護老人保健施設協会事業計画

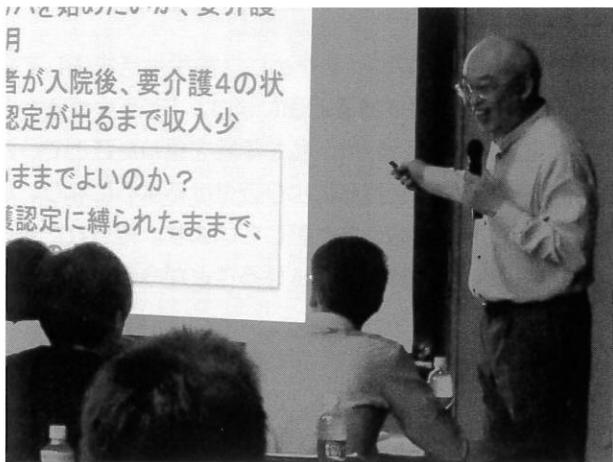
事業	実施内容	実施期日	会場	担当
会議	定時社員総会	5月22日（金）	ホテルグランド東雲	会長
	定例理事会 3月　　日（　）	5月22日（金） 11月20日（金） 未　定	ホテルグランド東雲 ホテルグランド東雲 未　定	会長
広報委員	広報委員会 「老健いばらき」担当者会議	7月 2日（木） 11月　日（　）	茨城県立健康プラザ 未　定	広報委員会 事務局
学術委員	学術委員会 研究発表会担当者会議	8月 7日（金） 12月　日（　）	つくば国際会議場 つくば国際会議場	学術委員会 広報委員会 事務局
	収支改善 及び マイナンバー対策セミナー (仮)	10月27日（火）	茨城県立健康プラザ	学術委員会 事務局
	第23回研究発表会 茨城県功労者 協会功労者・永年勤続者表彰	2月25日（木）	つくば国際会議場	学術委員会 広報委員会 事務局
機関紙	老健いばらき 第47号発行 第48号発行	9月 1日（火） 2月 1日（月）		広報委員会 事務局
県委託事業	茨老健会員施設職員対象 権利擁護推進員養成研修	未　定	未　定	茨城県 事務局

老健いばらき

事業	実施内容		実施期日	会場	担当
専門委員会	看護・介護	口腔ケアについて	6月5日（金）	茨城県立健康プラザ	看護・介護専門委員会事務局
		看取りについて	9月	水戸または筑波	
		高齢者虐待について	11月	水戸または筑波	
	支援相談員	グループワーク ・通リハ改定後の動向 ・在宅復帰の取り組み (新規の利用者の確保、稼働率) ・その他	7月17日（金） 14:00~16:00	茨城県立健康プラザ	支援相談員専門委員会事務局
		リスクマネジメント（老健相談員）	11月10日（火） 14:00~16:00	水戸	
	栄養	・食事摂取基準について ・介護保険改正に伴う栄養の加算について ・グループワーク	7月9日（木）	県民文化センター	栄養専門委員会事務局
		情報交換会 ・一回目の研修を終えて、各施設でどのように取り組んだか ・その他	11月頃	県北 県央・県東 県西・県南 (3か所で実施)	
	事務	接遇研修 ㈱マネジメントセンターの講師または常陽銀行の講師	9月25日（金） 10:00~15:00	茨城県立健康プラザ	事務専門委員会事務局
		リスクマネジメント (前年に続き、外岡弁護士による少人数グループワーク制にて、クレーム対応力を指導・強化し実践力を磨く)	10月23日（金）	茨城県立健康プラザ	
	リハビリテーション	平成27年度介護報酬改定 —リハビリテーション関連を中心に—	5月15日（金） 19:00~20:45	総合福祉会館	リハ専門委員会事務局
		在宅強化型老健のために —当施設が行った取り組みと現状—	7月24日（金） 19:00~20:45		
		トピックス	9月18日（金） 19:00~20:45		
		通所リハビリテーションシンポジウム	11月20日（金） 19:00~20:45		
		管理者研修	1月15日（金） 19:00~20:45		
		訪問リハビリテーション事例検討会	3月18日 19:00~20:45		
職種別専門委員会	看護・介護、支援相談員事務、栄養		2月下旬～3月上旬	未定	各種専門委員事務局

リハビリテーション専門委員会主催 平成27年度第1回研修会の開催報告

リハビリテーション専門委員会 委員長 國谷 伸一
(医療法人社団 聖嶺会 立川記念病院)



開催日時	平成27年5月15日（金）19：00～20：30
開催会場	茨城県総合福祉会館4F大研修室 (茨城県水戸市千波町1918)
内 容	平成27年度介護報酬改定－リハビリテーション関連を中心にして
講 師	高椋清先生（公益社団法人全国老人保健施設協会理事／医療法人・社会福祉法人健清会理事長）
主 催	一般社団法人茨城県介護老人保健施設協会リハビリテーション専門委員会
後 援	公益社団法人茨城県理学療法士会／公益社団法人茨城県作業療法士会／一般社団法人茨城県言語聴覚士会

今回、全国老人保健施設協会理事の高椋清先生をお招きして、平成27年度介護報酬改定の内容でご講義をして頂きました。昨年度、介護報酬のテーマでご講義頂き大盛況でしたが、今回の研修会も会場収容人数ギリギリの130名の参加者を募ることができました。療法士に限定することなく、主として介護老人保健施設所属の多職種の方々に周知・広報いたしました。結果、医師や介護支援専門員、介護職、支援相談員、健康運動指導士の方々にも多く参加して頂きました。

研修会内容としては、まず介護保険制度施行以前の老人保健施設の入所基準や介護保険制度施行後の介護老人保健施設の機能・課題等についてご説明をして頂きました。また、地域包括ケアシステムの中での老健施設はハブ（動かすエンジ

ン）の機能を持つと強調されていました。

次に、様々なパイロット研究の視点に基づき、非常に興味深い研究計画やデータをご提示頂きました。具体的には、家庭復帰が困難な理由と要介護度のクロス表を用いて利用者本人と家族の意向が大きく影響していること、転倒等発生リスクの高い高齢者は起居が自立の要介護者が該当すること、PEGからの離脱として意欲や座位保持、口腔内乾燥、喀痰吸引、発熱に関連性があること、排泄と自宅復帰にも相關があることをご講義頂きました。

短期集中リハビリテーションと認知症に対するリハビリテーションのエビデンスを示されていました。また、入所前後のマネジメントとして老健施設は、老人ホームではなくリハビリテーション施設であることを説明する重要性、リピート利用が最も望ましい形態であるとも述べられていました。

最後に、介護老人保健施設の未来として、在宅復帰・在宅支援を中心とした地域包括ケアのハブ施設、老健施設は老人ホームではない、より高度な医療対応が求められる、高齢者医療・リハビリテーション・看護・介護・栄養・ケアマネージャーのスペシャリスト集団であると熱弁を振るわれていました。

地域包括ケアシステムの構築に向けての介護老人保健施設の位置づけ、在宅復帰に向けての具体的方策とその根拠、リスクマネジメントなど、介護老人保健施設で業務を行う我々にご提言をして頂き、今後の臨床、研究の強い動機づけになりました。

利用者の「自分らしく生きる」を支えて行きたい!!

介護老人保健施設 シニア健康センターしおさい
言語聴覚士 鈴木 恵子



当施設は開設から17年目を迎えました。日立市の海沿いにあり、大木に成長した木々からは鳥の声が聞こえ、季節の移ろいを感じられるリハビリ庭園は、リハビリを提供しながら自分自身も気分転換ができる気持ちのよい場所です。

病院から当施設に来られた方は身体機能の向上を強く希望される方がほとんどですが、今の能力を活かした生活方法を提案し、理解していただくこともリハビリ職の大きな役割の一つです。信頼関係を築いていく上でも、個別訓練の20分間は、責任が重く、勝負の時間だと思っています。

入職した時から、ご利用者様の声を聞くことを大切にしてきました。耳を傾けることは心の支えになり、心を動かし、体を動かすことに繋がってきたと感じています。

今年は介護報酬の改訂もあり、新たにしおさいを創造す

るよい機会です。

「自分らしく生きていく」ために、施設生活を通して支えていく方法は無限にあると思います。「どう生きるか」「大切な人をどう支えるか」、私も年齢を重ねたことで、ご利用者様やご家族の気持ちにより近付けるようになり、理解できることも多くなったと感じています。得られた気付を活かして、専門性を充実させることができが今年の私の課題です。

人生の大先輩であるご利用者様の存在は、かけがえのないものです。そして何よりも、ご利用者様一人ひとりを支えるために積み重ねてきた努力と、チームワークから生まれたスタッフとの絆が、私のモチベーションを支えています。

スタッフからの一言

当施設における腰痛予防の取り組み

介護老人保健施設 かすみがうら
理学療法士 小林 秀行

介護、医療職に従事する職員で、慢性的に腰痛を抱えている職員は数多くいます。当施設のアンケート調査でも職員の58%が「腰痛あり」と回答しました。

この問題は当施設に限らず保健衛生業（福祉施設、病院等）全体の深刻な問題となっています。腰痛発生件数の増加は、介護職員の減少、利用者様へのサービスの質の低下に繋がる可能性があります。

そこで当施設でも、介護、医療職員の腰痛予防意識の向上と腰痛軽減を目的として、啓蒙と体操指導を行いました。その結果、腰痛予防意識の向上は見られましたが、意識の継続は不十分でした。また体操を実施して、「腰痛あり」と答えた58%のうち、半数が「腰痛が軽減した」と回答しました。この結果から、体操は腰痛軽減に一定の影響を与えた事が明らかとなりました。

やってみよう！
これだけ体操



この取り組みの結果を平成26年10月の全国介護老人保健施設大会岩手にて発表し、奨励賞を頂くことができました。

介護業界では利用者様のリスク管理は細かく行っていますが、自分達の労働環境を整えるという意識はあまりないように感じています。そこで、腰痛は当たり前だと思うのではなく自分達のリスク管理を行う視点も持つてもらいたいと考えています。まずは腰痛予防体操などに取り組んで頂くことが意識を変えるきっかけとなってくれればと思います。

私は今後も介護する側の腰痛予防など、健康管理の分野にも理学療法士としての専門性を生かして取り組んでいきたいと考えています。



介護老人保健施設小美玉敬愛の杜は、平成24年2月に小美玉市中台に開設いたしました。

入所定員100名（ユニット型個室20、ショートステイ5含む）、通所リハビリテーション定員25名の施設です。

当施設はハートピアグループ初の介護老人保健施設として開設、グループ内の社会福祉法人、株式会社各施設とも連携ご利用者の皆様の安心と安全に努めております。

当施設敷地内は遊歩道や芝地、樹木などが整備されご利用者のリハビリを兼ねた散歩散策の楽しみとなっています。また施設近隣には希望ヶ丘公園などがあり、心やすらぐ楽しい生活を送るのに最適な環境です。

開設より3年が過ぎましたが、多くのご利用者の方々が地域の皆様であり面会等も多いことも当施設の特徴のひとつであると思います。グループの理念でもある地域貢献に重きを置き、地域のリハビリ施設の拠点となれるよう様々な活動もしております。

「やさしい笑顔でみんな元気に、健やかな自立支援」を目標に、ご利用者の皆様の元気と安心を提供すべく今後も日々努力してまいります。今後とも宜しくお願い致します。



医療法人 健甦会
介護老人保健施設 小美玉敬愛の杜

〒319-0116
茨城県小美玉市中台148
TEL 0299-56-5181 FAX 0299-56-3788
URL <http://www.heart-pia.com/>
施設長 宮城 由彦

シルバーケア土浦 (土浦市)



● 「戦国武将」

両手に振戦がある利用者様の作品です。配色は、利用者様と職員で話し合い、いろいろと考えて決めました。震える手で折り紙を持ち、ハサミで切り、糊を付けて、慎重にピンセットを使用して貼りました。週2回の利用の方で、今年1月から制作を開始し、約半年をかけて完成させた作品です。

み
ん
た
か

大宮フロイデハイム (常陸大宮市)



● 「秋の夕日に咲く彼岸花

～二人の思い出の風景～

施設で生活されているご利用者様が毎月季節ごとに、思い出の風景を壁画として作成しています。昔の記憶を壁画として作成し、意欲を引き立て昔を懐かしんでいたぐことで回想法の手段として役立てております。ご利用者様一人一人が一生懸命はな紙をこよりながら一つ一つの花を立体的に作成し仕上げました。

勝田 (ひたちなか市)



before

after

● 「病院前花壇」

当施設前の花壇です。しばらく何も植えられてなかつたので、利用者様と職員が共に協力し、花を植えました。植えた当初（5月下旬）は閑散としていて、下の土が見えるくらいだったものが8月には色とりどりの花が花壇を埋め尽くしています。植える際には、利用者様に職員が花の事を教わる場面も見られました。その後も、毎日の日課として利用者様が水遣りを行ってくれています。当施設に来所の際は、ぜひご覧ください。

な
場

ひたちの森ハピネス (日立市)



● 「ステンドグラス風アート」

なぞるだけで簡単にきれいなステンドグラス風アートを作りました。

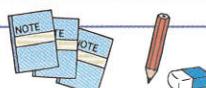
皆さん思い思いの配色と飾り付けで、それぞれのセンスが光る作品となりました。

チューブを握る力で、ガラス絵具の出具合が変わる為、より真剣な表情で作られていました。

(表紙、涸沼の概要) 美しい湖上の景観 ~「親沢」~

国際的に重要な湿地の保全を目指すラムサール条約に、茨城町と鉾田市、大洗町に面する涸沼が今年5月末、正式に登録された。

淡水と海水が混じる汽水湖で、面積935ヘクタール、周囲20kmの涸沼。ヒヌマイトトンボなどの絶滅危惧種が生息しているほか、ヤマトシジミやニホンウナギなどの海産・汽水産の多様な生物が見られ、野鳥の宝庫としても知られている。



一編集後記一